

総合戦略の概要について

人口減少を見据えた未来へと幸せが続く滋賀 総合戦略

1 総合戦略とは

まち・ひと・しごと創生法に基づき、人口目標をはじめとする地方創生に関する目標や、講ずべき施策に関する基本的方向および講ずべき施策を総合的かつ計画的に実施するために必要な事項を定めたもの。

2 計画期間

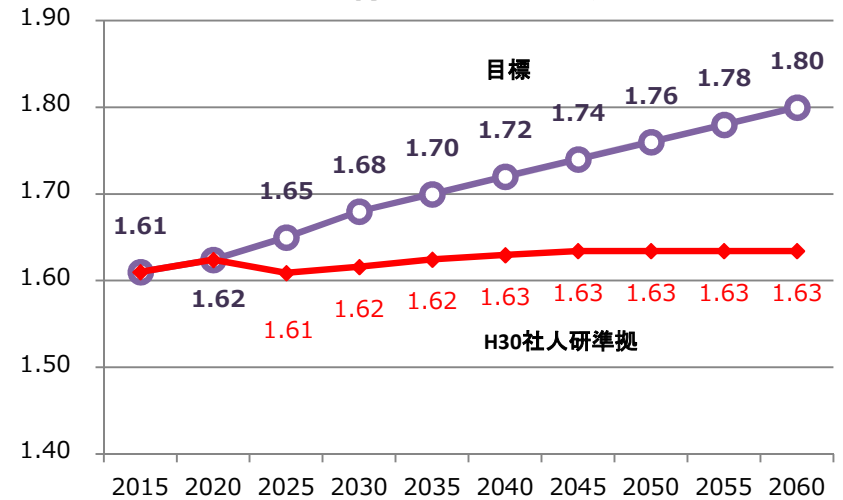
2020年度から2024年度（5年間）

3 人口に関する目標

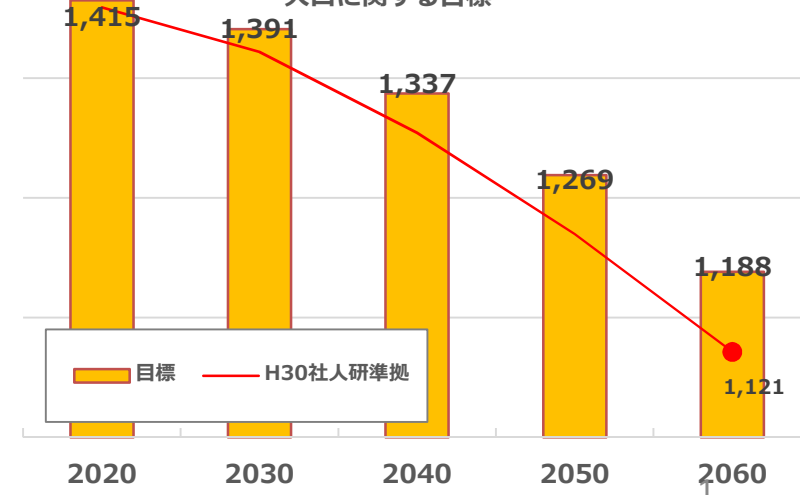
- 合計特殊出生率が、2060年までに1.8程度まで向上するように取り組みます。
- 県全体の社会増減が、2025年にプラス（社会増）となるよう取り組みます。

➡ こうした取組により、将来的な総人口として、2040年に約134万人、2060年には約119万人を確保

合計特殊出生率の見通し



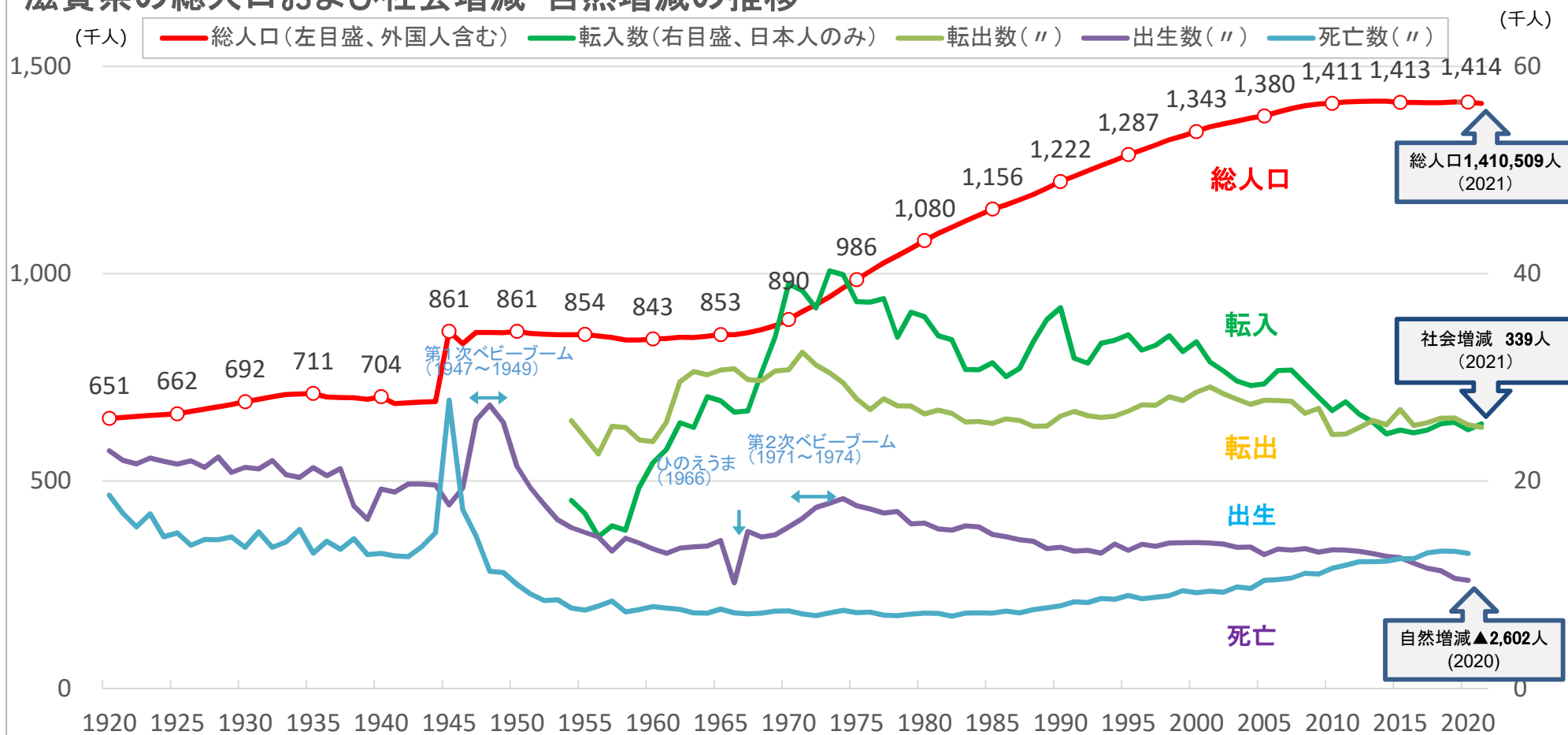
人口に関する目標



4 滋賀県の人口動向

- ・ 総人口は、2013年の約142万人をピークに減少に転じている。
⇒外国人を含めた総人口について、2019年に増加に転じたが、以後再び減少。
- ・ 40年あまり続いていた社会増（転入数>転出数）が2013年以降は社会減（転入数<転出数）に転じたが、2021年には9年ぶりに再び社会増（転入数>転出数）となった。
- ・ 少子高齢化に伴い、2016年以降は自然減（出生数<死亡数）が続いている。

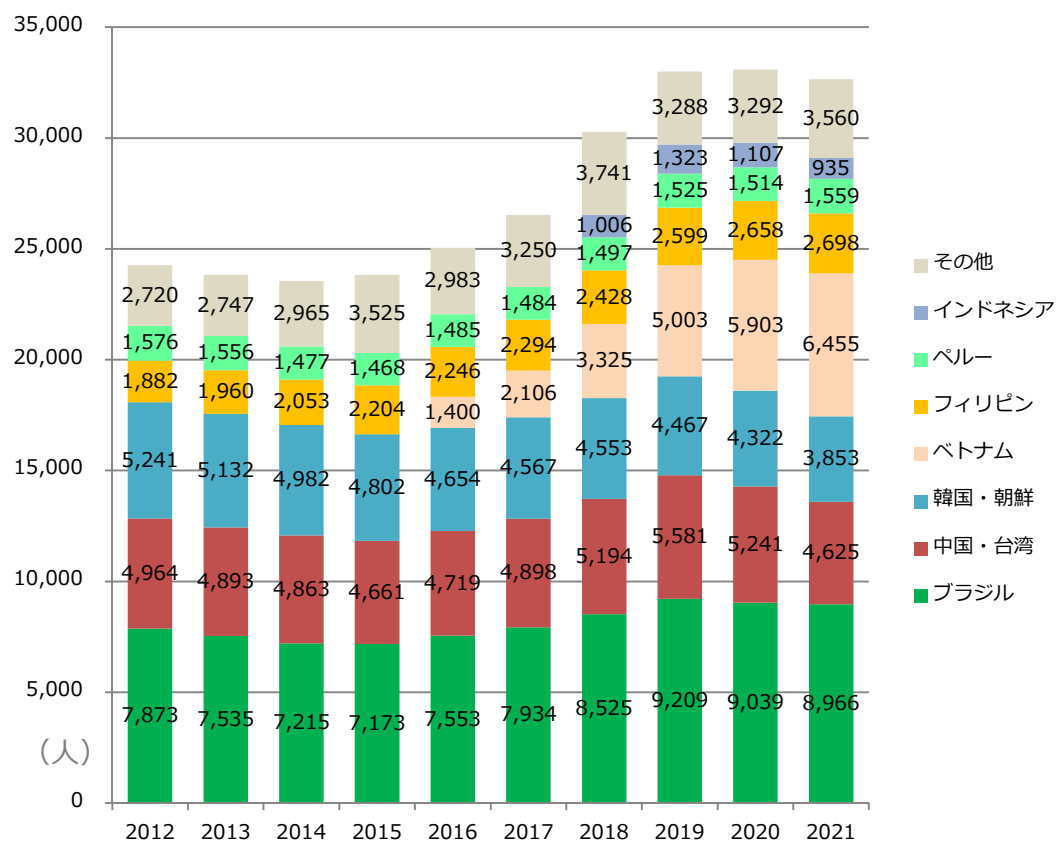
滋賀県の総人口および社会増減・自然増減の推移



■ 県内の外国人人口：

- ・ 県内の2021年12月末時点での外国人人口は32,651人で、前年（33,076人）よりも425人減少。平成27年より増加が続いていた外国人人口は、新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐための入国制限などにより減少する結果となった。
- ・ 全体の3割前後をブラジル国籍者が占めている一方で、近年はベトナム国籍者が急増。
- ・ 在住地は、長浜市、湖南省、甲賀市、東近江市といった工場進出エリアに比較的多いとみられる。

滋賀県の外国人人口の推移（各年末時点）



住民基本台帳人口調査結果（外国人人口集計表）

令和3年(2021年)12月31日現在

	ブラジル	ベトナム	中国	韓国	フィリピン	ペルー	インドネシア	その他	合計
合計	8,966	6,455	4,625	3,853	2,698	1,559	935	3,560	32,651
割合	27.5%	19.8%	14.2%	11.8%	8.3%	4.8%	2.9%	10.9%	100.0%
大津市	162	371	940	1,758	309	82	94	799	4,515
彦根市	494	693	485	181	422	50	24	307	2,656
長浜市	1,678	551	436	87	269	195	42	419	3,677
近江八幡市	369	474	152	164	144	23	63	201	1,590
草津市	138	664	938	453	174	47	94	381	2,889
守山市	43	185	282	179	82	50	79	108	1,008
栗東市	251	352	199	203	105	111	69	101	1,391
甲賀市	1,630	685	293	207	323	354	84	251	3,827
野洲市	29	150	141	104	49	13	100	79	665
湖南省	1,456	587	125	276	116	361	117	179	3,217
高島市	31	114	67	183	29	0	17	69	511
東近江市	1,539	970	279	230	423	174	112	242	3,969
米原市	153	151	132	35	18	5	8	36	538
日野町	292	233	41	34	47	24	13	46	730
竜王町	28	52	25	13	10	0	5	14	150
愛荘町	558	128	54	26	134	59	0	25	987
豊郷町	106	47	25	0	26	0	0	9	220
甲良町	0	31	8	6	10	0	6	0	65
多賀町	8	17	0	0	8	0	0	5	46

[滋賀県総合企画部国際課調べ]

※0～4人の場合は「0」と表示しているため、各行、列を合計した値は必ずしも合計欄の数字と一致しませんのでご注意ください。

資料：滋賀県「住民基本台帳人口調査結果（外国人人口集計表）」

5 総合戦略の構成

政策分野	基本政策	基本政策において目指す方向性	主な施策
ひと	1 みんなで応援する 結婚・出産・子育てと 人生100年時代の 健康しがの実現	1) 子どもを安心して生み育て、 子どもの健やかな育ちを支える 社会づくり	① 子どもを生み育てやすい環境づくり ② 子ども・若者を社会全体で応援 ③ 仕事と子育ての両立に向けた働き方改革の推進
		2) 子どもがたくましくしなやかに 生きる力を身に付けるための教育	① 子ども一人ひとりの個性を大切にし、生きる力を育成
		3) 人生100年時代の健康しがの実現	① 健康増進に向けたいきいきとした暮らしの推進 ② 文化やスポーツを通じた元気な地域づくり
しごと	2 次代に向かう 産業の活性化と 多様で魅力ある 働く場の創出	1) 成長市場・分野を意識した 産業創出・転換	① 先端技術等を活用した新たな市場展開や交流による イノベーションの創出 ② 滋賀の強みを活かした産業の創出
		2) 生産性の向上や高付加価値化 による力強い農林水産業の確立	① 農林水産物のブランド力向上 ② マーケットインの視点による農林水産業の展開
		3) 人材の確保・育成と経営の強化	① 人材の確保・定着と事業承継 ② 各分野の人材育成とダイバーシティ経営の推進
		4) 誰もが働き、活躍できる環境の整備	① 誰もが活躍できる多様な働き方の推進 ② 学び直しや再挑戦しやすい環境づくり
まち	3 様々な人々が集い、 琵琶湖と共生する 魅力的な滋賀づくり と次世代への継承	1) 訪れる人・関わる人の創出	① 滋賀ならではの特色を活かした観光の創造 ② 多様な人が関わり合う地域の創造と移住の促進
		2) 暮らしを支える地域づくり	① 地域コミュニティを支える人材の育成等 ② 暮らしやすいコンパクトなまちづくり ③ 地域を支える新たな公共交通の仕組みづくり
		3) 森・川・里・湖の多面的価値を 未来へ引き継ぐ地域づくり	① 農山漁村の持つ多面的価値の次世代への継承 ② 琵琶湖の保全再生と活用 ③ 生物多様性の確保、森林の多面的機能の発揮

(重視する視点)

- ①若い世代への支援と転入の拡大
- ②Society 5.0を見据えた産業の振興
- ③誰もが活躍できる共生社会の推進
- ④「関係人口」の創出・拡大
- ⑤人口減少が進む地域への対応